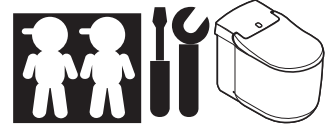




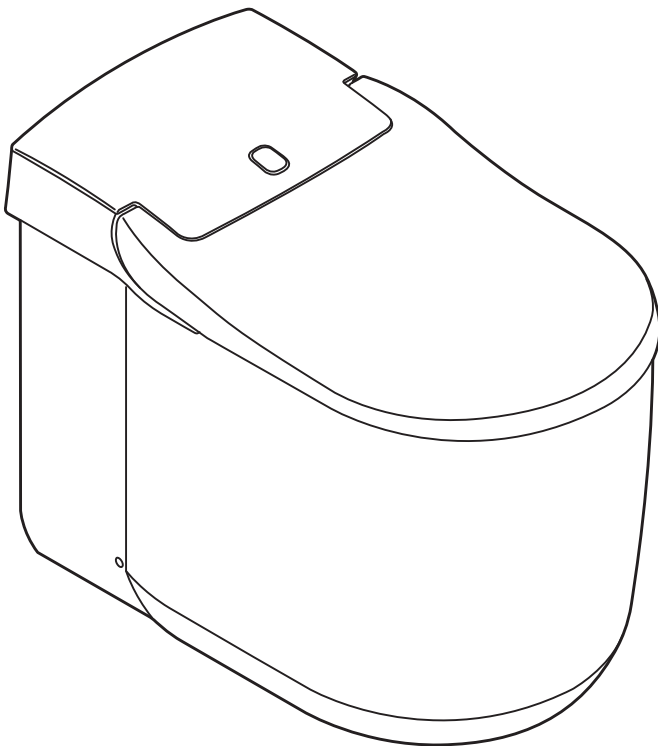
39381SH0
39382SH0

施工説明書

JP2

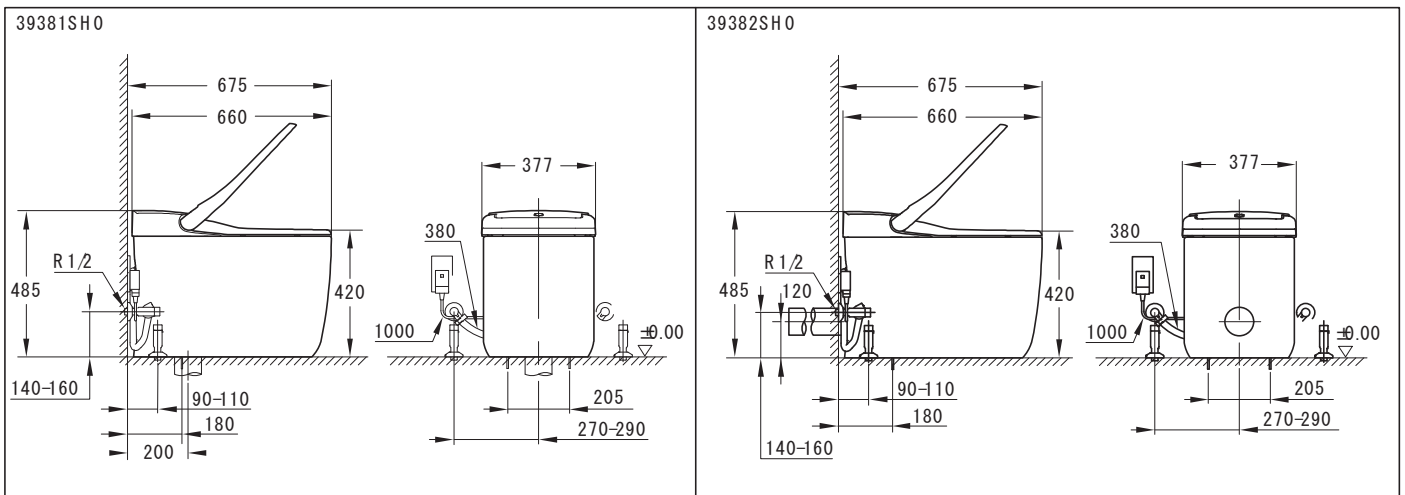


.....6



FHT71-0302-002

FHT71-0303-002





本施工説明書は二部構成となっています。
 第一部ではトイレを施工する際の安全遵守事項および手順説明を、第二部では図解の施工方法を記載しています。
 各部を参照して本説明書をお使いください。

安全上のご注意

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項を記載しています。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

危険

避けないと死亡や重傷を負う危険な状態が差し迫ることを示します。

警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意

取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

危険



電源プラグの誤った接続は感電の原因になります。



電気設備工事は資格を有する電気技術者に依頼する。
 ※ ショート・感電の恐れがあります。

警告



施工説明書に従い、正しく施工する。
 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
 ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



認可を受けたサービス技術者以外の者は本商品の分解、修理もしくは改造は絶対に行わない。
 ※ 感電・火災、また誤作動によりケガの原因になります。



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
 ※ 感電の恐れがあります。



電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
 ※ コード部を持って電源プラグの抜き差しを行うと、プラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。



本体やリモコン、電源プラグに水や洗剤をかけない。
 ※ 感電・火災の原因になります。



AC100V以外では使用しない。
 また電源プラグを不適切に設置されたレセプタクルにつなげるいかなる方法も取ってはならない。
 ※ 定格電圧を超える使用は感電・火災の原因になります。



電源プラグは確実に差し込む。
 ※ コード破損による感電・火災の恐れがあります。



電源コードにキズを付けたり、無理に曲げたり、加工したり、ねじったり、束ねたり、狭み込んだり、重いものを乗せたりしない。
 ※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。



バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
 ※ 感電・火災の原因になります。



水道水以外に接続しない。
 ※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。



分解や改造は絶対に行わない。
 ※ 感電・火災・ケガの原因になります。



ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
 ※ 感電・火災の原因になります。



アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
 ※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
 ※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。

注意



便器は陶器製で割れ物です。便器を扱う際には以下に注意する。
 ・ 施工前に便器は破損がなく状態良好であると確認する。
 ・ 施工後に便器が破損がないことを確認する。
 ※ ケガ・漏水、または / もしくは浸水の原因になります。



本商品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
 ※ 商品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。



ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉め、便器洗浄操作を行う。
 ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
 ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
 ※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。



止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
 ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



お客さまにお渡りするまでに凍結が予想される場合は本商品から水を抜いておく。
 ※ 凍結破損により火災・漏水、または / もしくは室内浸水の原因になります。

A 付属品

- a シャワートイレ・フレキホース
- b 止水栓・クリップ
- c リモコン
- d ねじ・アンカー・単3形乾電池（リモコン用）
- e 盗難防止ナット・ねじ・ワッシャー（リモコン用）
- f 排水ソケット（床排水 / 壁排水）
- g 固定部材
- h ねじ・ワッシャー・アンカー・ねじキャップ付きねじ
- i 施工型紙
- j 施工サポート台
- k 説明書セット
- l 壁養生部材
- OPTION** 排水ソケット
（床排水芯 250 ~ 270mm）
- OPTION** 排水ソケット用耐火カバー

B 必要な工具

- a スパナ（19 mm）
- b プラスドライバー（No.2）
- c マイナスドライバー（5mm）
- d 精密プラスドライバー（No.0）
- e ノコギリ
- f 水平器
- g ヤスリ
- h シールテープ
- i 定規
- j ペン
- k ハンマー
- l カッター
- m グリス
- n 色付きテープ
- o コーキング剤
- p モンキーレンチ
- q 精密マイナスドライバー（2.5mm）

C-1 止水栓の取付け

- 床排水の場合（▲ 壁給水の場合 / □ 床給水の場合）
- ◆ 壁排水の場合（▲ 壁給水の場合 / □ 床給水の場合）
- 1 止水栓にシールテープを巻き付ける。フレキホース接続口の向き*を調節して止水栓を取り付ける。閉開ハンドルを回して止水栓が閉じていることを確認する
 - ※▲ 壁給水の場合：水平に対して 50°
 - ※□ 床給水の場合：壁に対して 60°

C-2 排水ソケットの取付け

- 床排水の場合
- 1 排水口の塩ビ配管を床と水平に切断する
 - ※ VP100・VU100・VU75 の場合：床から 40cm の位置で切断
 - ※ VP75 の場合：床の表面に沿って切断
- 2 排水ソケットを固定する
 - ※ 床がタイルまたはコンクリートの場合は下穴を開けアンカーを使用してください
- ◆ 壁排水の場合
- 1 高さ調節ナットを緩め、排水ソケット上面が水平になるよう排水管に接続する
- 2 排水ソケットの中心と排水管の中心が直線上になるように台座の方向を調節して、排水ソケットを固定し、高さ調節ナットを締め付ける

C-3 固定部材の位置決め

- 床排水の場合
- 1 施工型紙を排水ソケットの台座に合わせて置き、色つきテープで固定する。固定部材のねじ位置に印を付ける
- 2 固定部材を仮置きする
- 3 施工型紙を点線から切り離し、固定部材を固定する
 - ※ 床がタイルまたはコンクリートの場合は下穴を開けアンカーを使用してください
- ご注意**
 - ・ すき間、ガタつきがある場合はコーキング剤を使用してシール接着してください。
- ◆ 壁排水の場合
- 1 施工型紙の切り取り線を切り離す
- 2 施工型紙を排水ソケットの台座に合わせて置き、色つきテープで固定する。固定部材のねじ位置に印を付ける
- 3 固定部材を仮置きする
- 4 施工型紙を点線から切り離し、固定部材を固定する
 - ※ 床がタイルまたはコンクリートの場合は下穴を開けアンカーを使用してください
- ご注意**
 - ・ すき間、ガタつきがある場合はコーキング剤を使用してシール接着してください。

C-4 便器の設置

● 床排水の場合 / ◆ 壁排水の場合

- 1 便器の先端を持ち上げ、付属品の施工サポート台を便器下に差し込む。壁養生部材を立てかける
- 2 便器を施工サポート台ごと排水ソケットの手前に移動させる
- 3 便器の側面下のねじ穴に対して垂直に色付きテープを貼る
- 4 施工サポート台のすき間に手を掛けて便器を持ち上げる。床の型紙の▲マークと便器のテープ位置を合わせる。排水ソケットに便器の排水口を合わせる。施工サポート台を抜き取る
- 5 便器を降ろす。床の型紙の▲マークと便器のテープ位置が合っているか確認する
- 6 便器側面にねじを差し込み、固定部材と便器を固定して、ねじキャップを取り付ける。壁養生部材を取り外す

C-5 フレキホースの接続

- 1 保護キャップを外し、止水栓にフレキホースを差し込む
- 2 クリップで固定する。クリップをまわしてフレキホースを引っ張り、接続されているか確認する

ご注意

- ・クリップは折り曲げて固定してください。
- ・クリップが適切に固定されていない場合、取り外して取り付け直してください。クリップをあけるには、工具を差し込みロックを解除してください。

- 3 止水栓の開閉ハンドルを全開まで回したあとに90°戻す

ご注意

- ・固着防止のため、必ず90°戻してください。

C-6 電源の接続

- 1 コンセントにアース線を取り付ける
- 2 電源プラグをコンセントに差し込む
- 3 電源プラグのリセットボタンを押して、電源表示が一瞬点灯することを確認する

C-7 リモコンの取付け

- 1 リモコンをホルダーから取り外し、電池を入れる

ご注意

- ・リモコンの画面上に縦の線が出てくることがありますが、これは故障ではありません。縦の線は電池を入れた際に消えます。

- 2 リモコンの取付位置を決める

ご注意

- ・リモコンの取付位置上部にスペースをあける。

- 3 リモコンの設定 (⚙️) ボタンを押してリモコンを登録する

- 4 リモコンホルダーを壁に取り付ける

● 薄さが5mm以下の石膏ボードおよびベニヤ板に取り付ける場合

● コンクリート壁へ取り付ける場合

- 5 盗難防止ナットをリモコンの溝へ挿入する

- 6 ホルダーにリモコンを取り付ける

- 7 盗難防止ワッシャーとねじでリモコンをホルダーへ固定する

JP

D-1 漏水チェック

- 1 リモコンの便器洗浄ボタンを押して、漏水チェックを行う

D-2 試運転

- 1 紙や布きれ等で着座センサーを覆って便座を下げ、シャワー（おしり洗浄、ビデ洗浄）と温風が出るか確認する

- 2 洗剤タンクに水を補充する

- ① 電源プラグをコンセントから抜く
- ② トップカバーを外す
- ③ 手動レバーを押し上げて右にスライドする
- ④ 洗剤タンクを取り出して補給キャップを取り外す
- ⑤ 洗剤タンクの「150」の位置まで水を入れる

ご注意

- ・「FULL」の位置以上に水が入った状態で洗剤タンクを本体に取り付けしないでください。

- ⑥ 洗剤タンクを本体に戻す
- ⑦ 手動レバーを左にスライドし押し下げる

- 3 リモコンの[設定]を2回押してから[泡]を2秒以上押す。約40秒後に便器に水が出たら便器を洗浄する。この操作を複数回繰り返す

- 4 洗剤タンクを取り出し、水量が減っていることを確認したら洗剤タンクの水を空にする

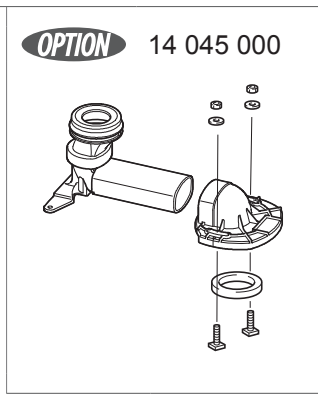
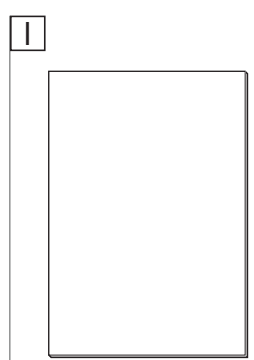
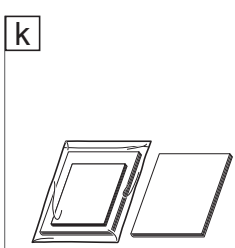
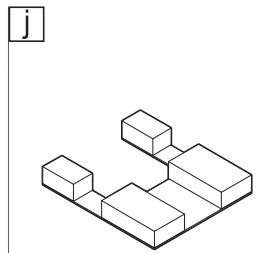
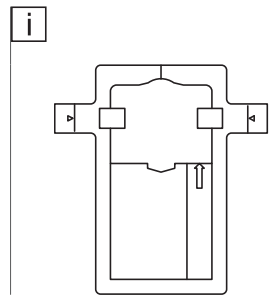
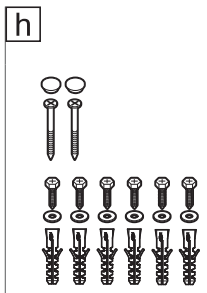
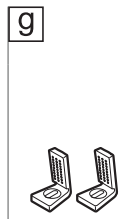
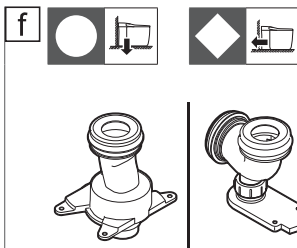
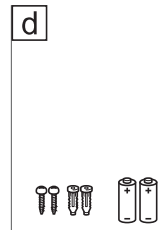
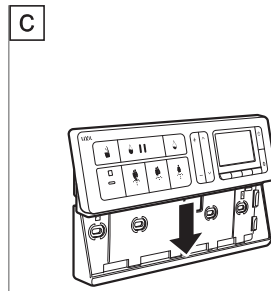
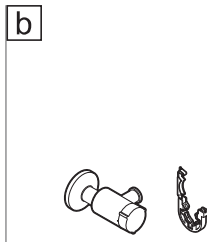
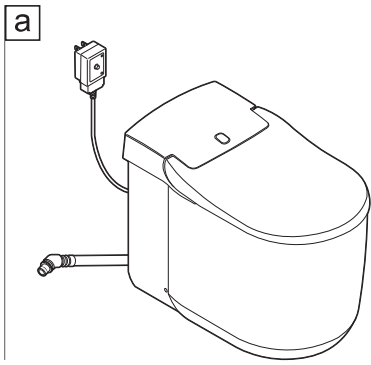
- 5 補給キャップを取り付けて洗剤タンクを本体に戻す。手動レバーを左にスライドし押し下げる

- 6 リモコンの[設定]を2回押してから[泡]を2秒以上押し、本体内部に残っている水を出す

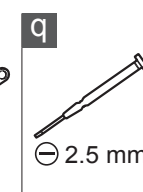
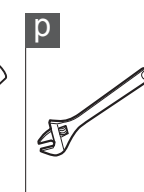
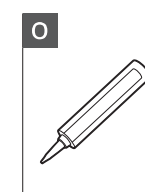
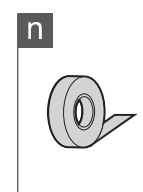
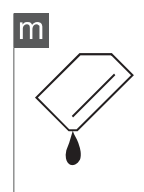
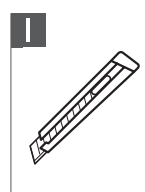
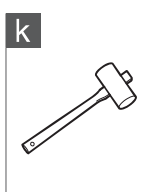
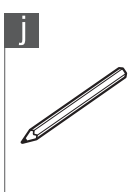
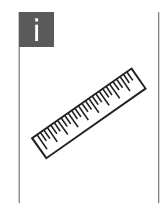
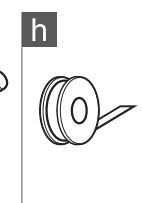
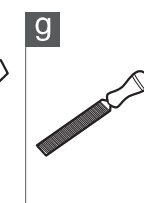
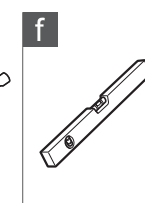
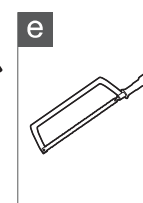
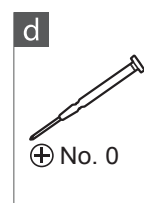
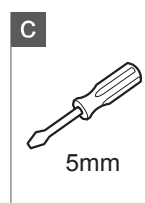
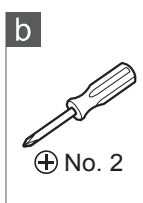
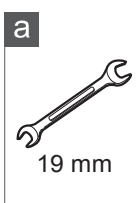
D-3 片づけ

- 1 便器側面のシール、床のシールおよび型紙を取り除く

A

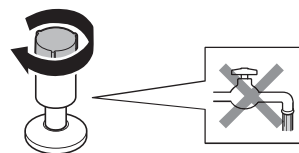
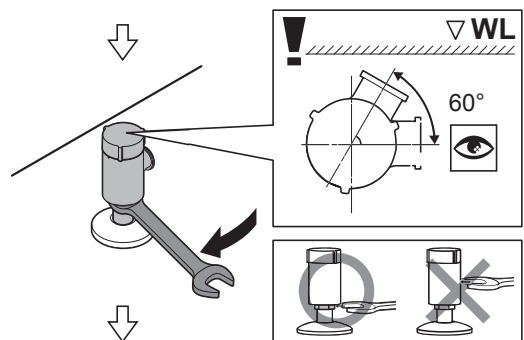
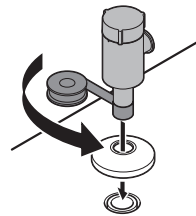
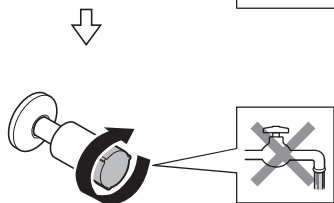
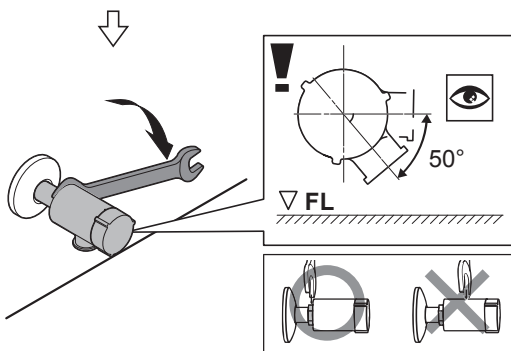
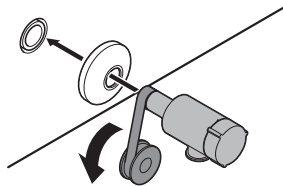
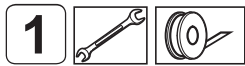
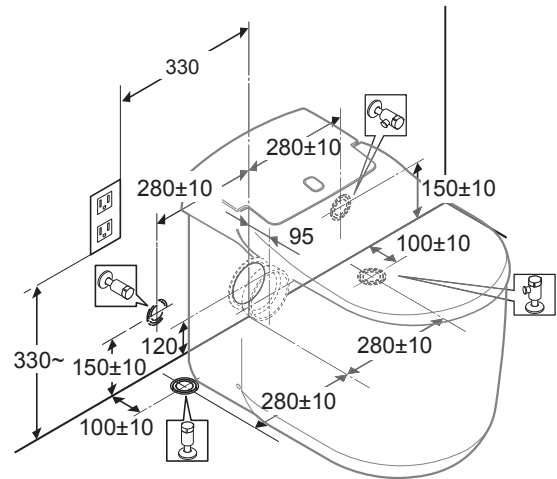
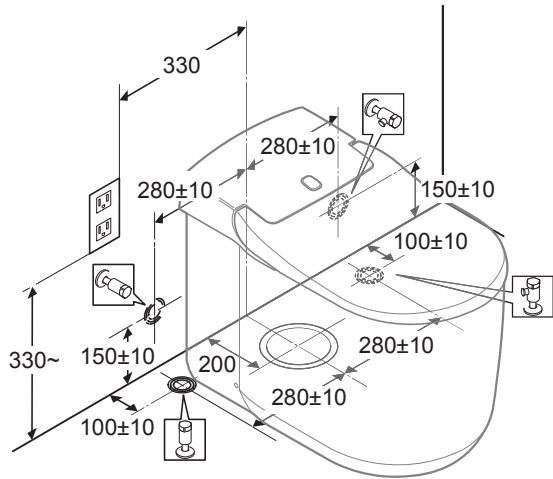
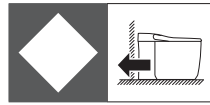


B

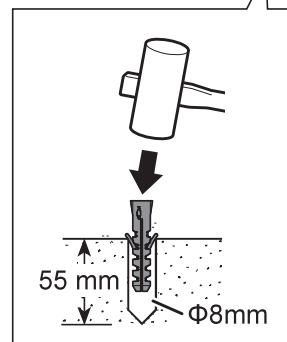
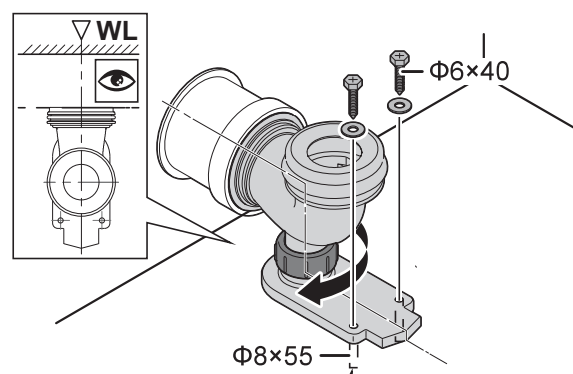
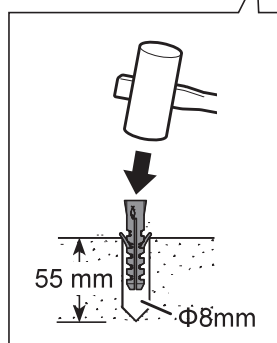
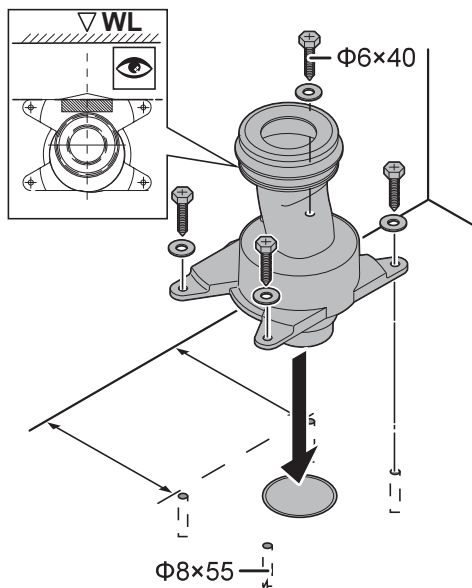
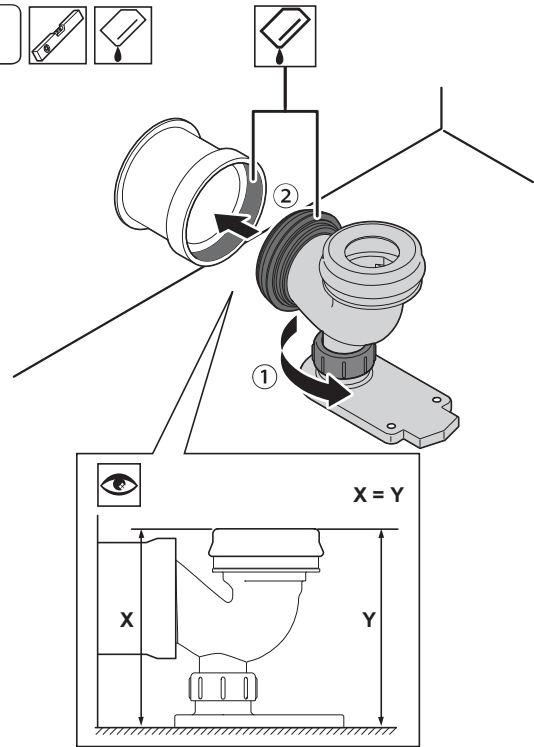
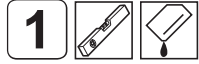
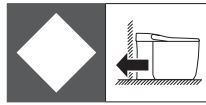
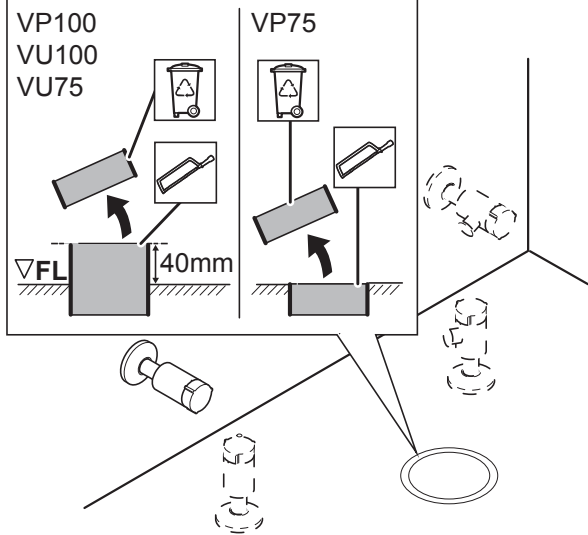
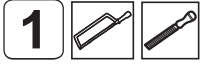
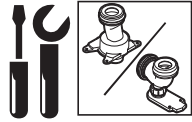


C-1

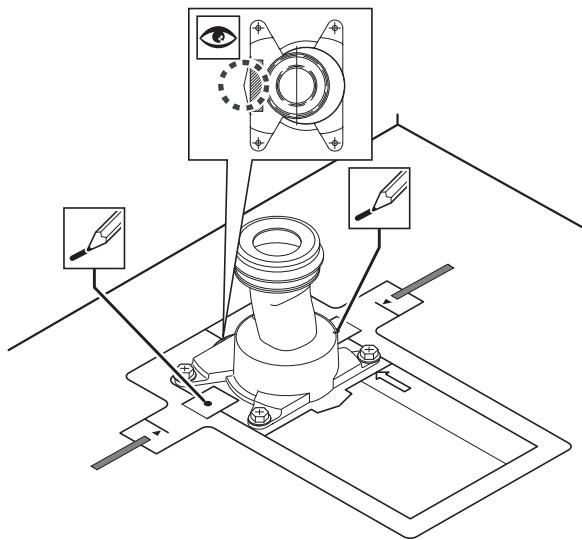
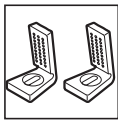
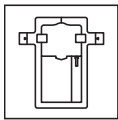




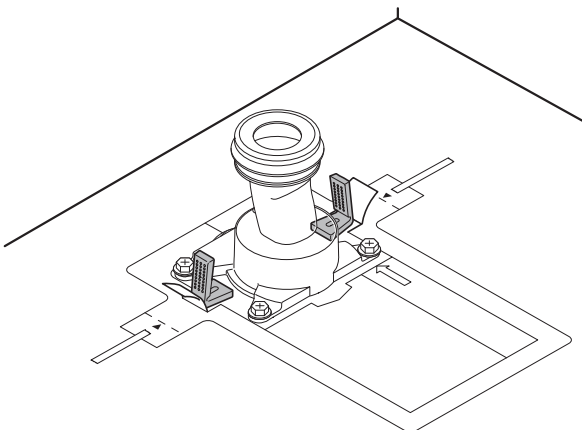
C-2



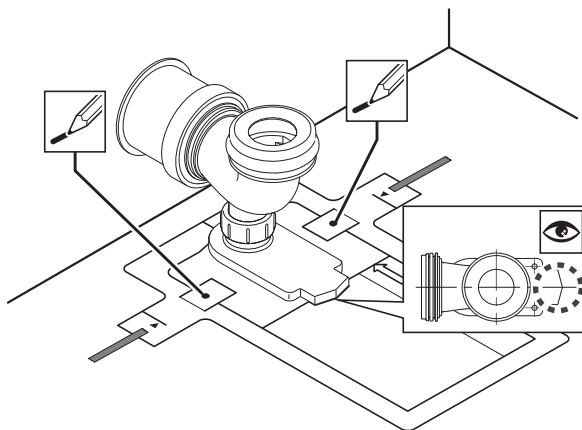
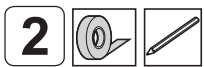
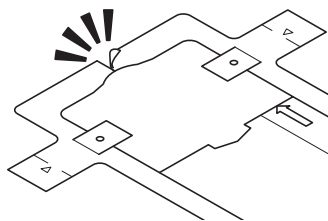
C-3



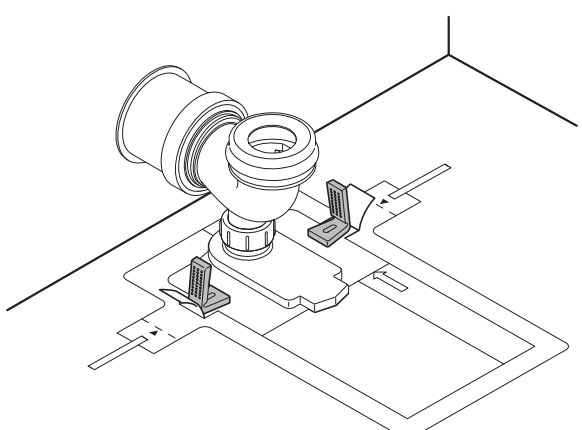
2



1

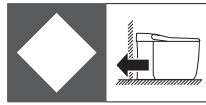
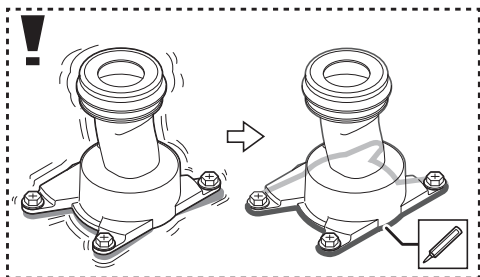
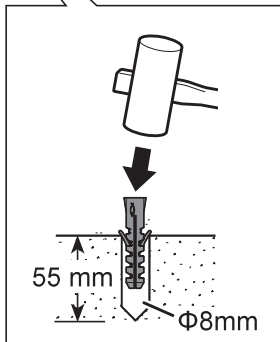
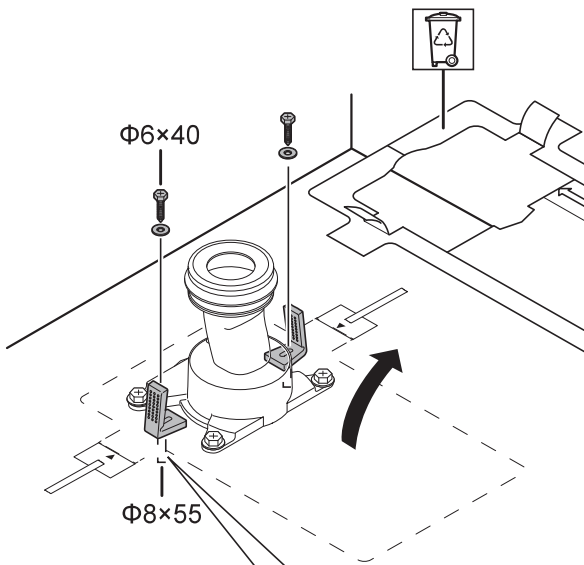


3

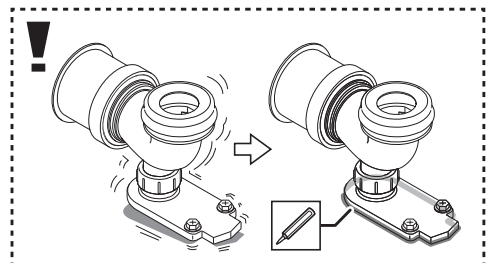
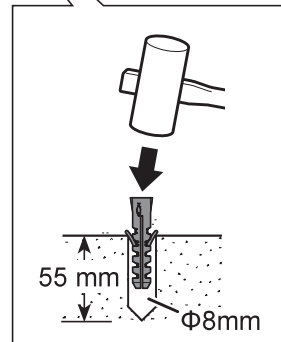
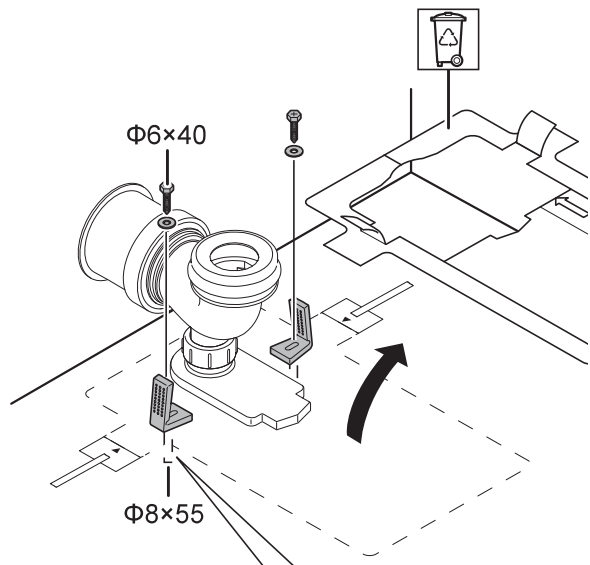




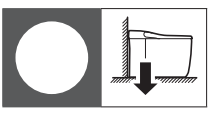
3



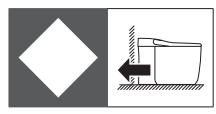
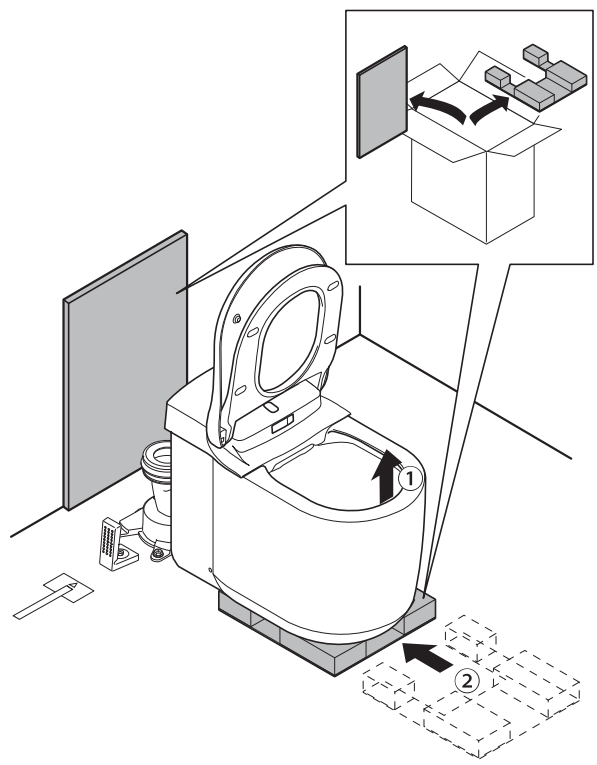
4



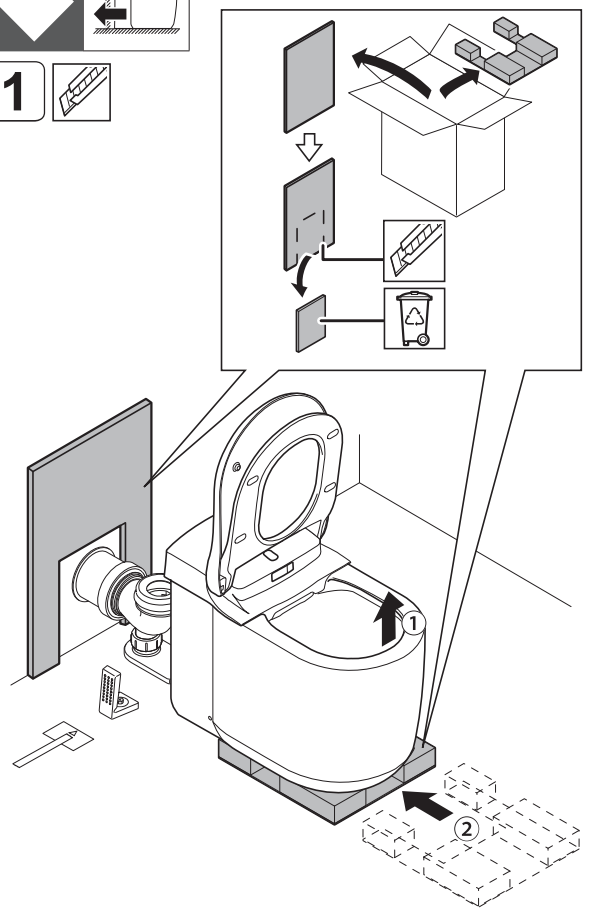
C-4

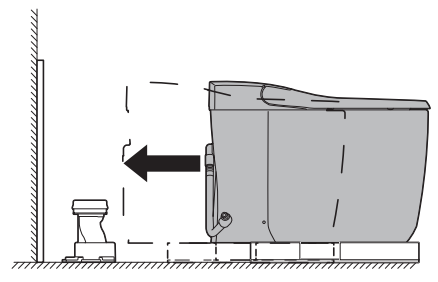
1



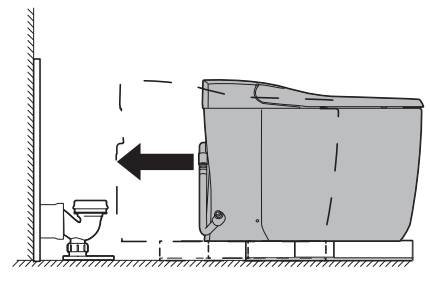
1



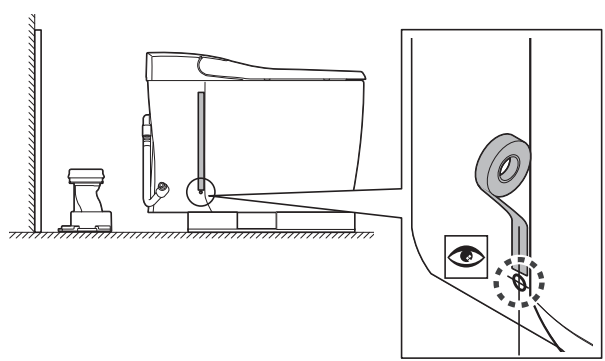
2



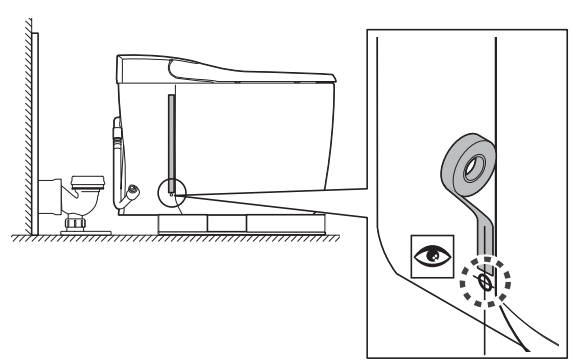
2

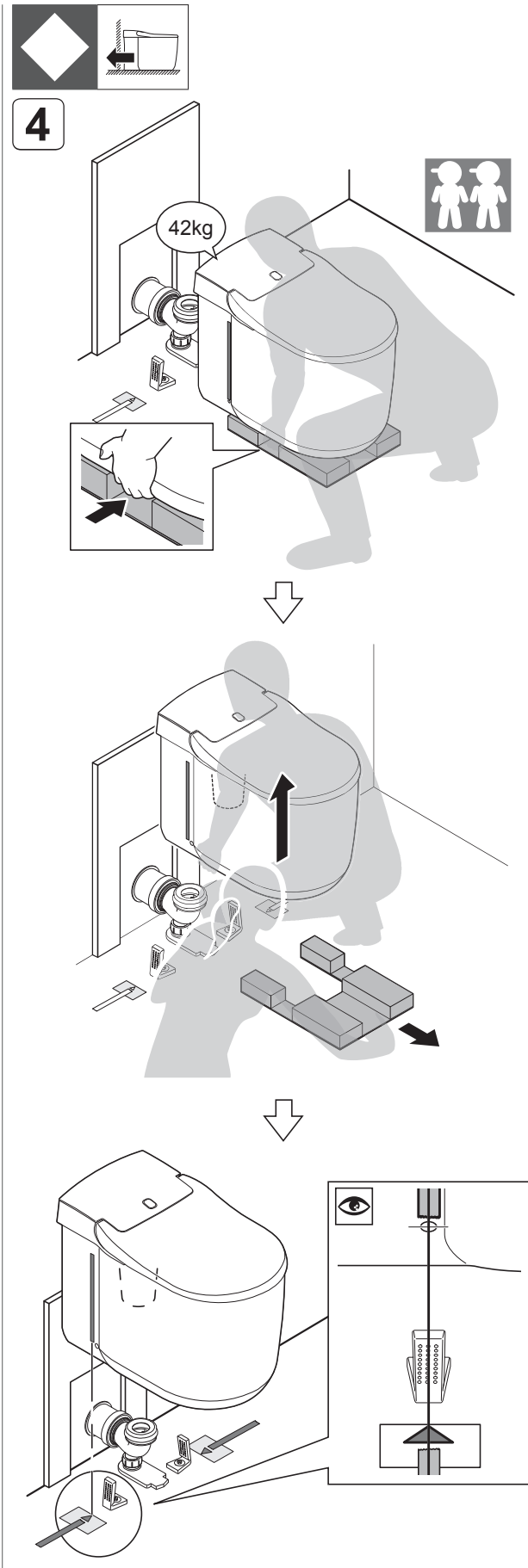
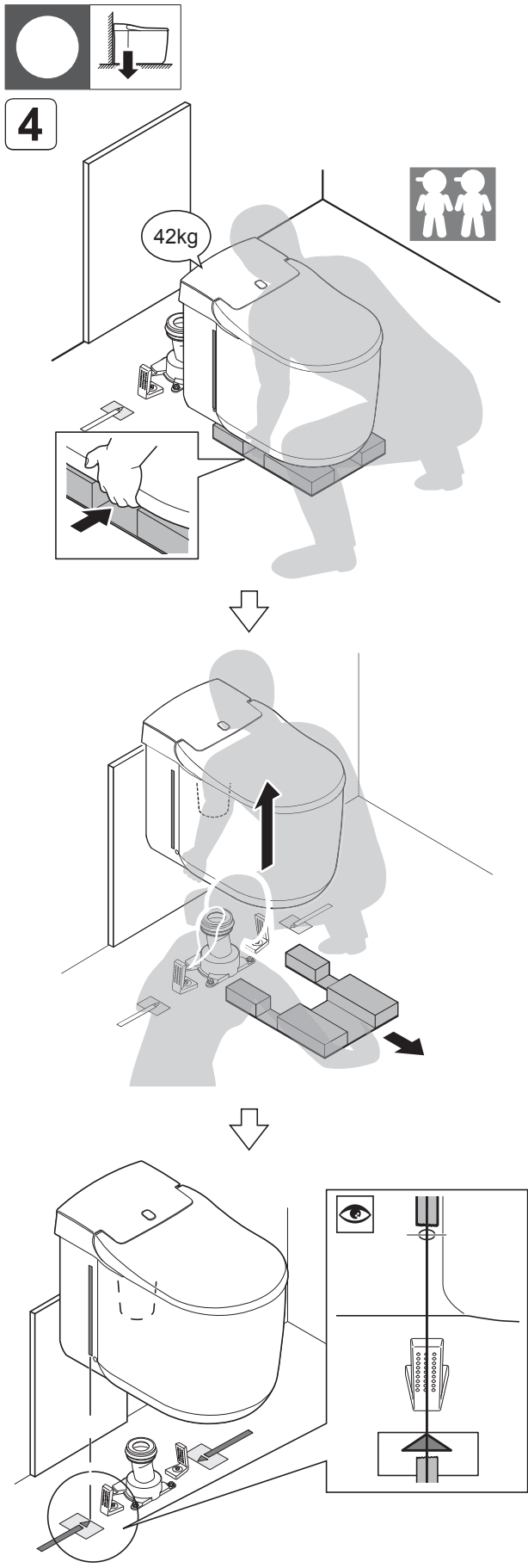


3



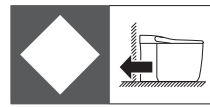
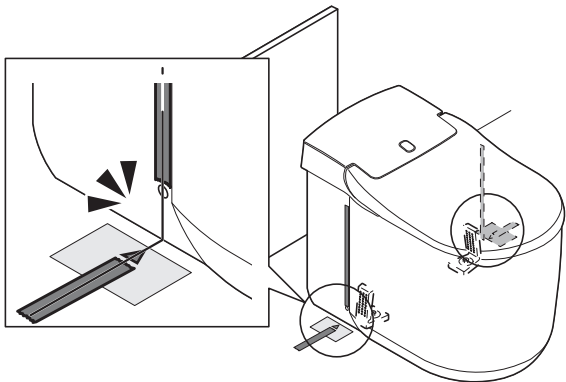
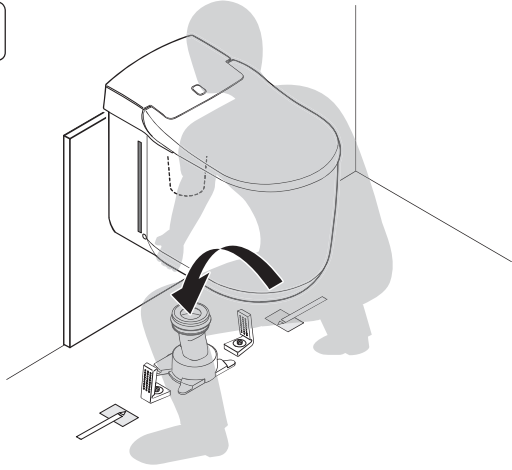
3



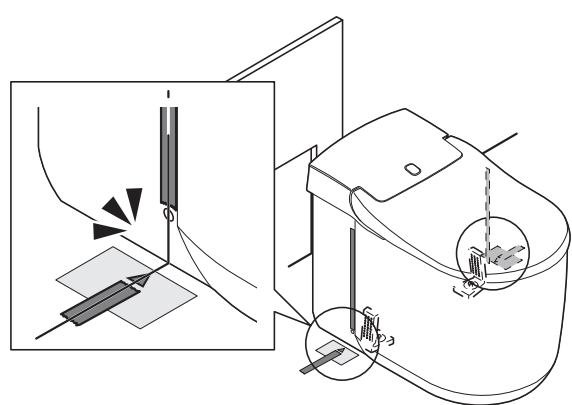
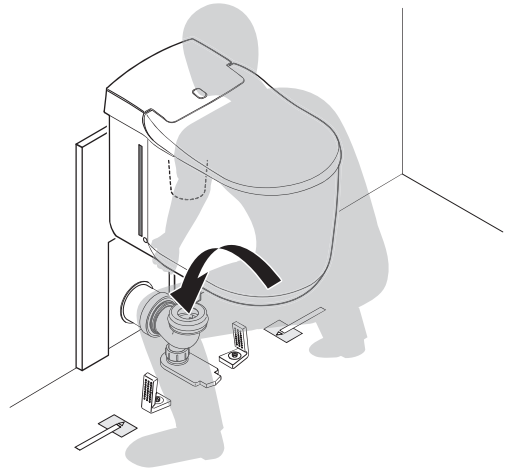




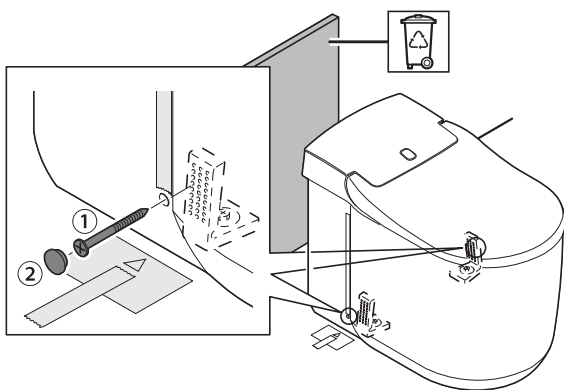
5



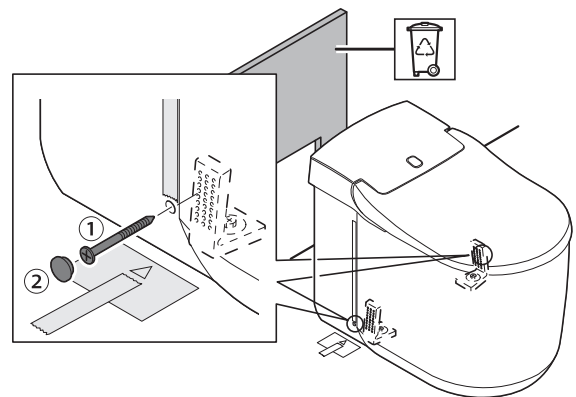
5



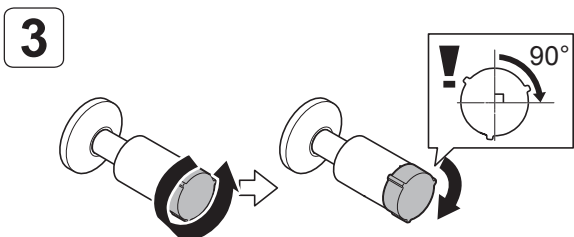
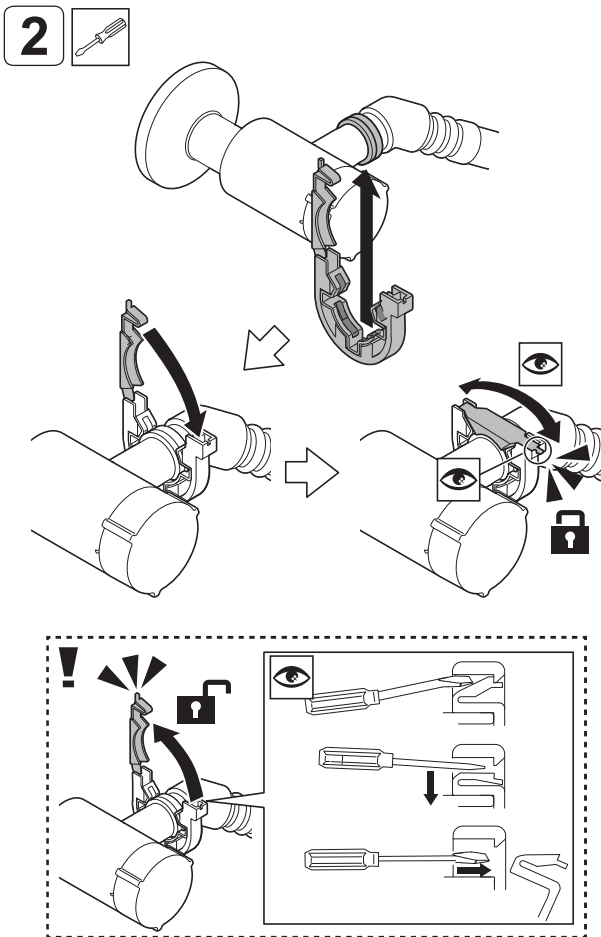
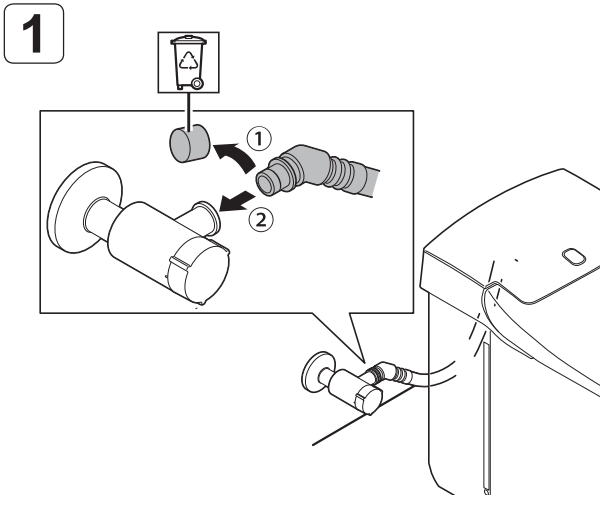
6



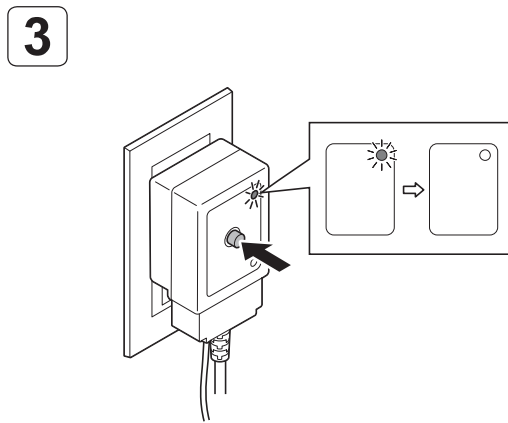
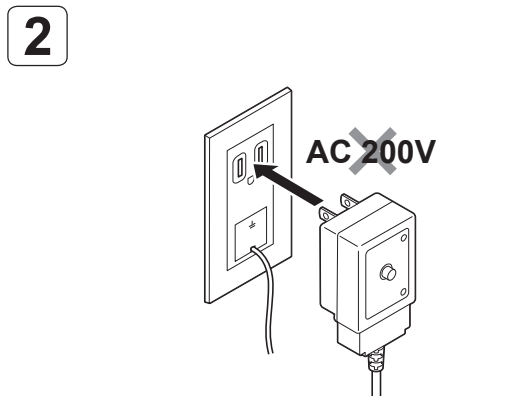
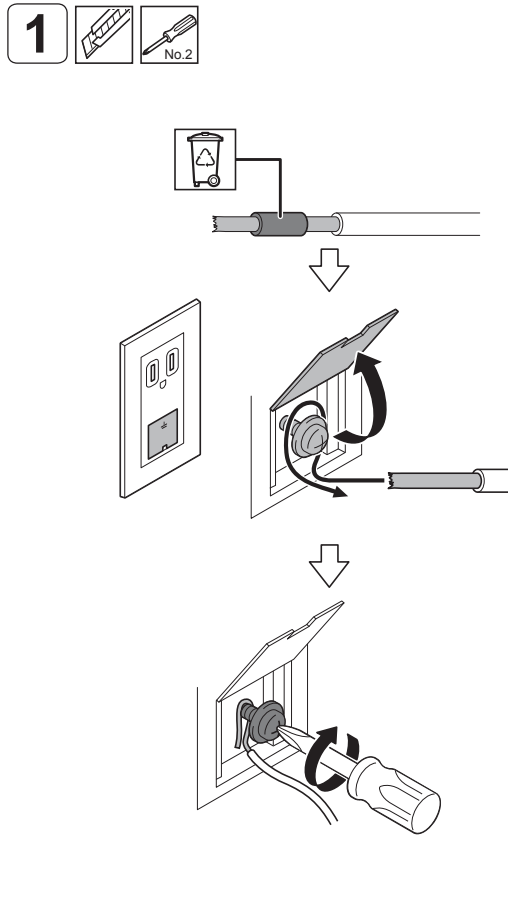
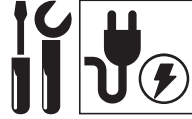
6



C-5



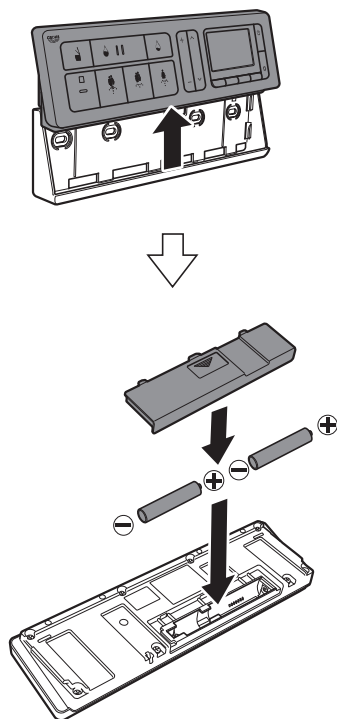
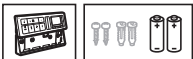
C-6



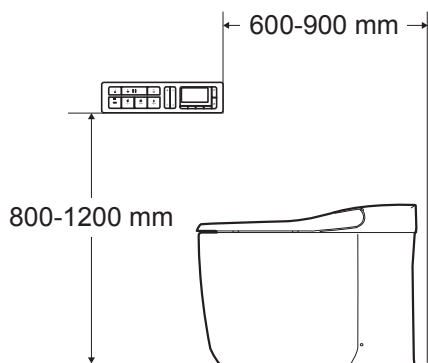
C-7



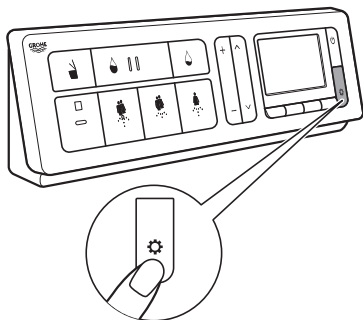
1



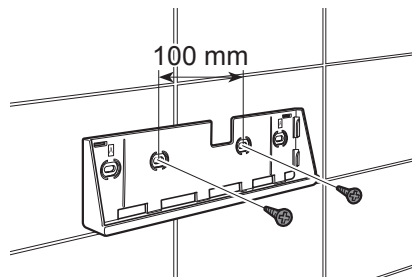
2



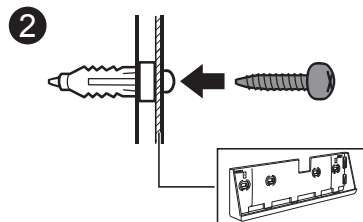
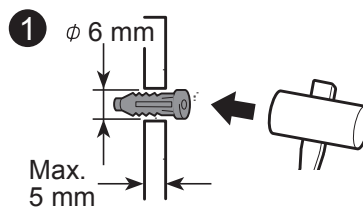
3



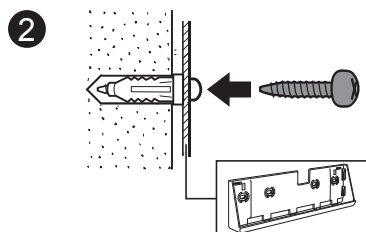
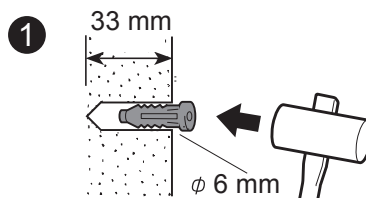
4



A



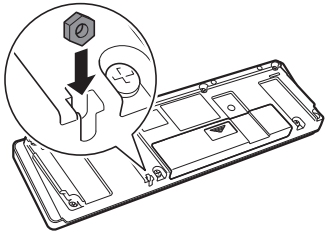
B



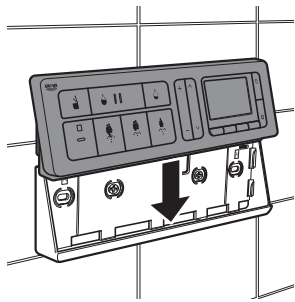
D-1



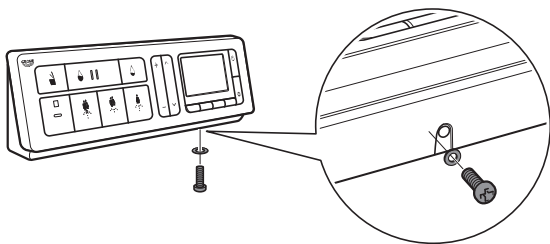
5



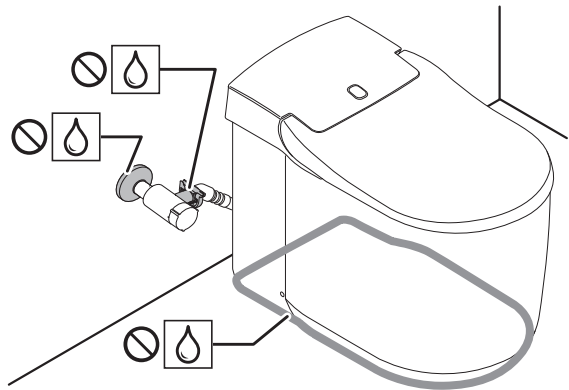
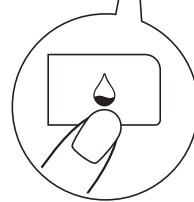
6



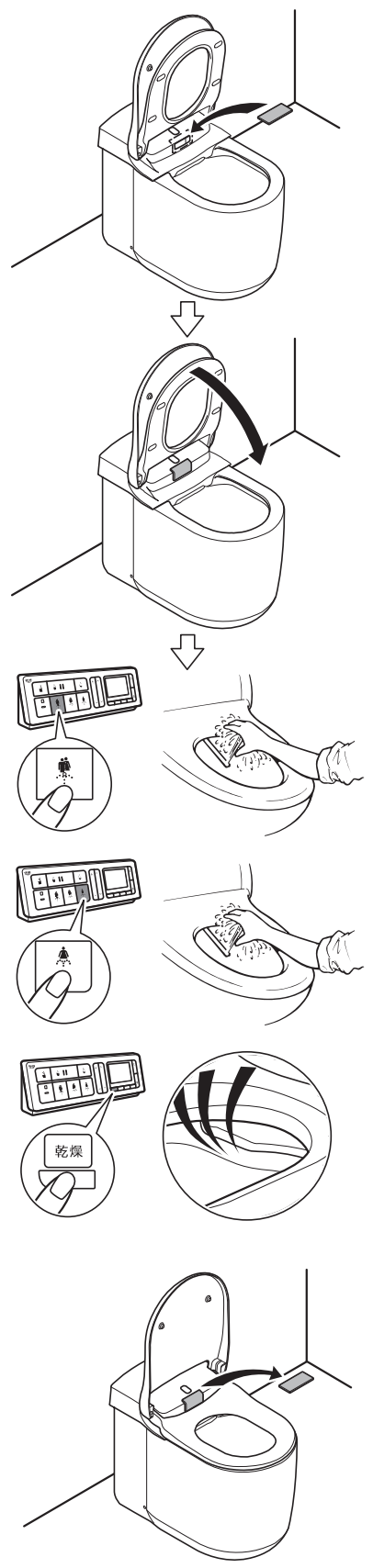
7



1

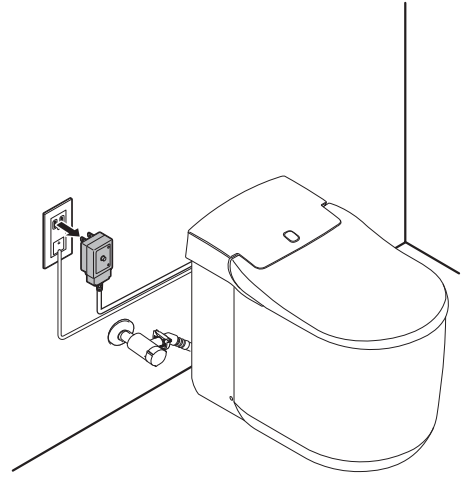


1

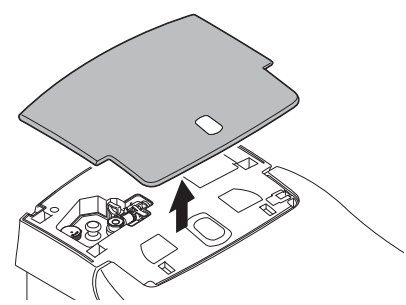


2

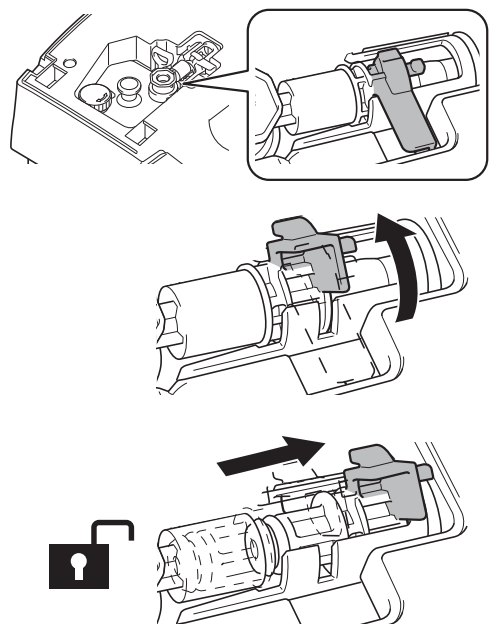
1



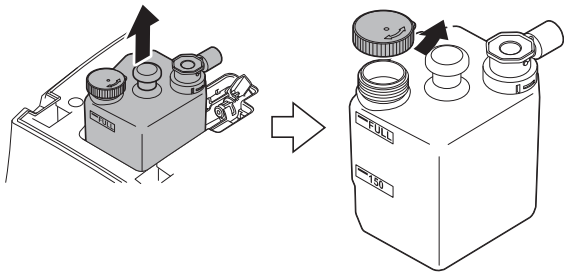
2



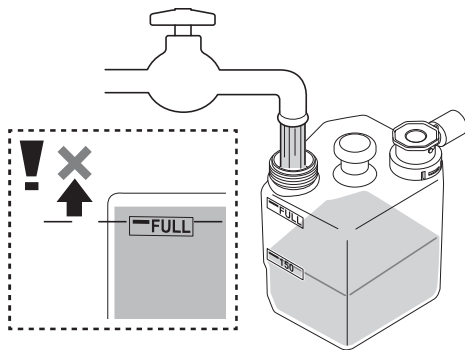
3



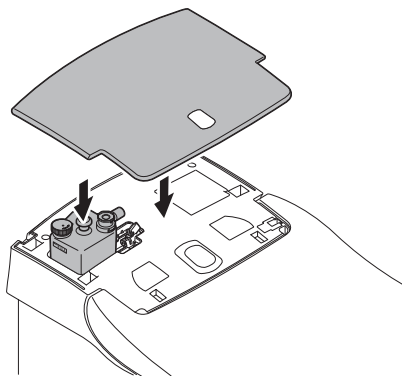
4



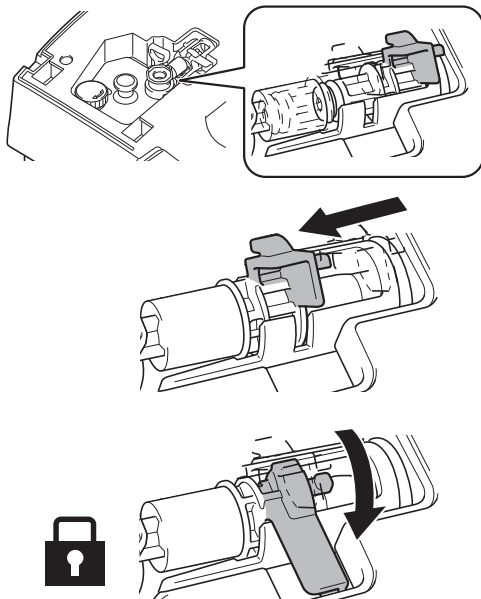
5



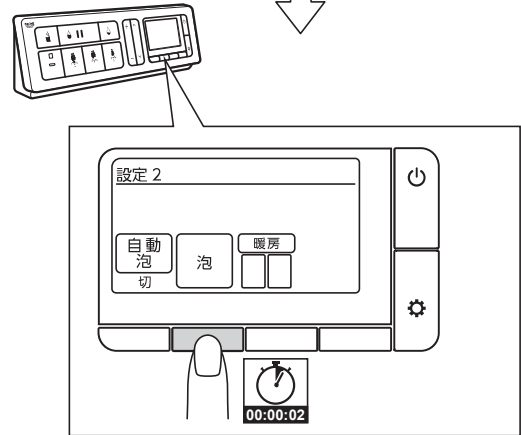
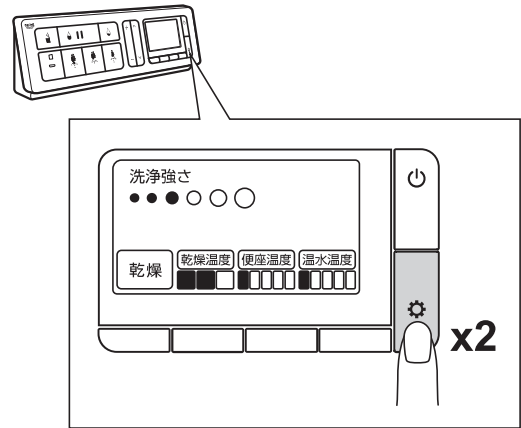
6



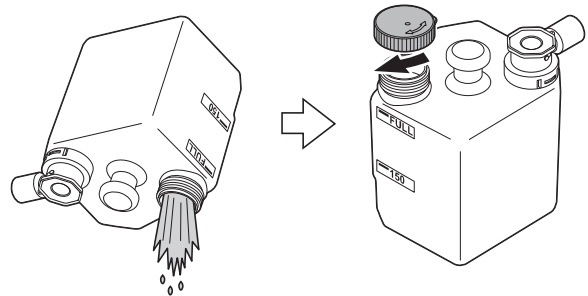
7



3

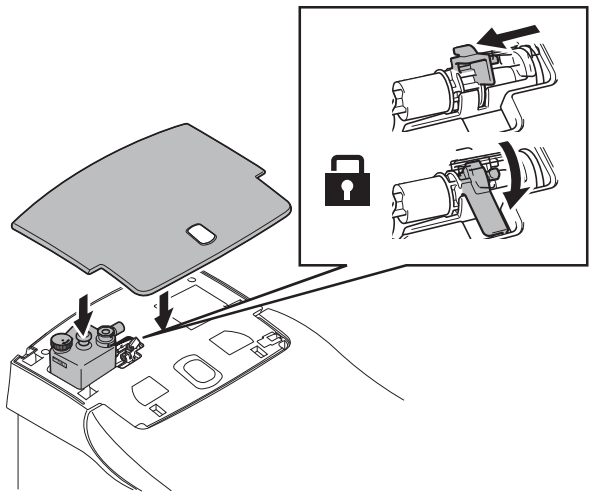


4

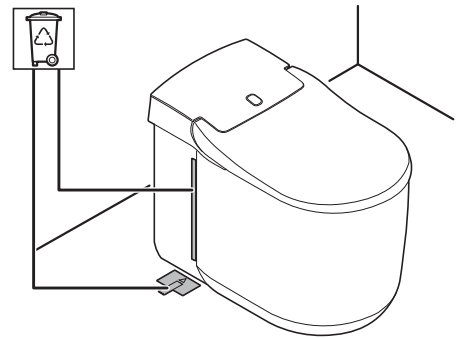




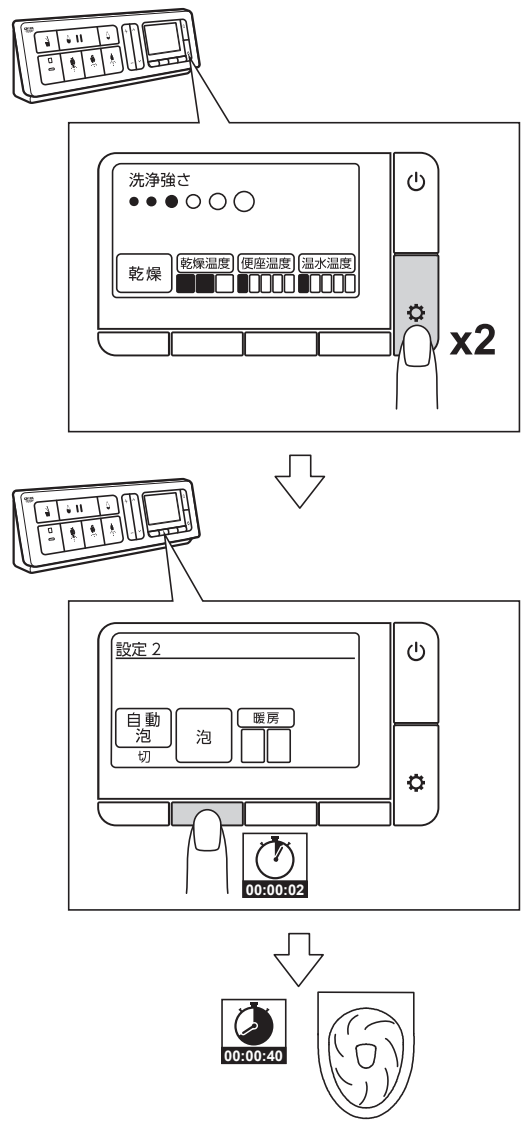
5



1



6



■商品・修理のお問い合わせは グローエジャパン サービスセンターへ

 0120-315-968 (受付時間 9:30~17:30 / 土・日・祝、夏季、冬季休暇を除く)

グローエジャパン株式会社

本社

東京都港区北青山 2-11-3 A-PLACE青山 6F

□アフターサービス課

TEL 0570-666-368 FAX 03-5775-7611

営業時間 9:30 ~ 17:30

定休日 土・日・祝日

PCW-1343-JP (16090)